

KUMAMOTO

The Weekly Bulletin

GREEN Rotary-Club

Kumamoto green rotary-club district 2720 rotary international



ロータリー：
変化をもたらす

2017～2018年度テーマ

国際ロータリー 「変化をもたらす」

R.I.会長 イアンH.S.ライズリー

地区方針 「ロータリーを奨励し、ロータリーを楽しもう」

R.I.2720 地区ガバナー 永田壮一

熊本グリーンRC 「ロータリーを楽しみ、会員相互の研鑽・親睦を深めよう」

熊本グリーンRC会長 河野景治

■例会日：毎週月曜日 18:30～19:30
■例会場：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル
TEL096-326-3311

■創立：平成元年2月22日 ■会長：河野景治 ■幹事：中島三千代 ■会報担当：長野義文
■事務所：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル内
TEL096-354-4521 FAX096-354-4053 E-mail:kgrc@serc2720.org

国際ロータリー
第2720地区

熊本グリーンロータリークラブ週報

【2017年9月7日】

第1272回

2017-2018年度 第8回

2017～2018年度 永田壮一ガバナー公式訪問 熊本第3グループ (4RC) 合同例会プログラム

【日時】平成29年9月7日(木)

【会場】熊本ホテルキャッスル 地階「クリスタルホール」

<司会 熊本グリーンRC S.A.A. 荒木 一之

■食事の時間

<12:10～12:30>

■例会

<12:30～>

1. 開会、点鐘 熊本グリーンRC 会長 河野 景治
1. 国歌斉唱「君が代」
1. ロータリーソング「奉仕の理想」熊本グリーンRC ソングリーダー 仙波 洋八
1. 来訪者紹介及び歓迎挨拶 熊本グリーンRC 会長 河野 景治
1. クラブ会長、幹事、会員紹介 熊本グリーンRC 会長 河野 景治
1. 幹事報告 熊本グリーンRC 幹事 中島三千代
1. スマイル報告 熊本グリーンRC スマイル担当 福島 和見
1. スマイル贈呈 熊本県ロータリー奨学会 理事長 小野 友道
熊本グリーンRC 会長 河野 景治
1. 謝辞 熊本県ロータリー奨学会 理事長 小野 友道
1. ガバナー補佐挨拶 熊本第3グループガバナー補佐 大友 利行

<13:00～>

1. ガバナーアドレス RI 第2720 地区ガバナー 永田 壮一

<13:30>

1. 閉会、点鐘 熊本グリーンRC 会長 河野 景治

(敬称略)

■記念撮影

<13:30～>

永田壮一ガバナーとの記念撮影を例会場ステージにてクラブ単位で行う。



卓話予定

- 9/11 「熊本グリーンロータリーアクト今年度活動計画発表」 ★アクトとの合同例会
- 9/18 祝日(敬老の日) 定款第6条第1節に基づき例会取り止め
- 9/25 クラブフォーラム「I. M. 準備打合せ」
- 10/2 「観月例会」(於:泉里) ★例会変更

【熊本グリーンRC ホームページアドレス】 <http://www.kg-rc.com/>

来訪者並びに参加クラブ紹介

RI 第2720 地区ガバナー 永田 壮一 様
RI 第2720 地区熊本第3グループガバナー補佐 大友 利行 様
RI 第2720 地区幹事 井上弘太郎 様
RI 第2720 地区副幹事 平木 邦昭 様
RI 第2720 地区副幹事 和田 明大 様
RI 第2720 地区副幹事 河島 一夫 様
熊本県ロータリー奨学会理事長 小野 友道 様
RI 第2720 地区ロータリーの友代表委員 山田 哲大 様
RI 第2720 地区事務所事務局長 立石 和裕 様
熊本東RC 25 名 会長 田中 俊憲 様、 幹事 西上 佳孝 様
熊本北RC 4 名 会長 中尾 潤一 様、 幹事 村上 芳明 様
熊本東南RC 26 名 会長 白木 誠一 様、 幹事 古田 哲朗 様
熊本グリーンRC 17 名 会長 河野 景治 様、 幹事 中島三千代 様

第2720 地区 永田壮一ガバナー 公式訪問歓迎の挨拶



熊本グリーンロータリークラブ 会長 河野 景治

皆さんこんにちは。本日は国際ロータリー第2720地区ガバナー 永田壮一様の公式訪問です。熊本第3グループ4クラブ、熊本東、熊本東南、熊本北、熊本グリーンの合同例会として訪問を受けさせていただきました。

私は今日の合同例会のホストをいたします熊本グリーンロータリークラブの会長の河野景治でございます。進行等の不行き届きがございましたら、どうぞ、ロータリーの好意と友情でお許しを願いたいと思います。

4クラブを代表いたしまして、ひと言ごあいさつを申し上げます。

す。

まずは永田ガバナー、今日の合同例会へ 公式訪問としてお越し頂き誠にありがとうございます。4クラブ会員一同こころより歓迎を申し上げます。永田ガバナーにおかれましては7月末より公式訪問をスタートされ、地区内74クラブを65日間、合同例会を含め38例会を訪問されるスケジュールを現在、進行されております。そして、本日がその23番目の例会訪問、永田ガバナーの所属が私ども熊本第3グループということで、日ごろより永田ガバナー、永田先生には私どもも見近に感じさせて頂いている次第です。

今日は、この公式訪問の合同例会の時間を挟んで午前と午後に、永田ガバナーを中心に、ひとクラブごとに会長・幹事懇談会が開催の運びと相成っており、例会後も引き続き行われます。永田ガバナーより、ロータリーの活動についての平素の思いも含め、いろいろな観点よりアドバイスを頂けるものと深く感謝を申し上げます。

さて、この後、卓話の時間を利用して、出席4クラブの皆様へ、公式訪問としてのガバナーアドレスがございます。今回は「入りて学び、出でて奉仕せよ」というテーマで、アドレスを頂戴いたします。このアドレスはロータリーに対してのガバナーの熱い思いを直接聞くことができる貴重な機会でございます。どうぞ最後までご静聴のほど、宜しくお願いいたします。

最後になりましたが、永田ガバナーにおかれましては公式訪問が10月初旬まで続きます。まだまだ残暑も厳しいものがございます。お体に留意され、全ての公式訪問が無事終了され、この一年がより充実したものになりますことを祈念いたしまして、簡単でございますが、会長の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

熊本第3グループ4RC合同永田壮一ガバナー公式訪問 幹事報告
 報告者 熊本グリーンRC幹事 中島三千代



・熊本第3グループIM（インターシティー・ミーティング）のご案内

日時 平成29年10月13日（金）
 IM 16:00～17:40 懇親会 18:00～20:00
 場所 熊本ホテルキャッスル 地階「クリスタルホール」
 参加費 4,500円（懇親会費含む。IMのみも同額です）
 ※多数のご出席をお待ち致しております。

・第9回「熊本中央ロータリークラブチャリティコンペ」のご案内

日時 平成29年10月27日（金）
 午前7時45分 例会並びに開会式 午前8時 スタート
 場所 熊本高遊原カントリークラブ
 プレー代 キャディ付 9,500円
 セルフ 7,300円 参加費 3,000円
 ルール ダブルペリア方式
 ※お1人からの参加も可能です。又、ロータリアン以外の一般参加者も歓迎致します。

出席報告

| | 会員総数 | 21名 | 出席率 |
|-----------------------|----------|-----|--------|
| 9月7日 | 出席免除会員数 | 0名 | 80.95% |
| | 計算上会員数 | 21名 | |
| | 出席会員数 | 17名 | |
| 8月21日 | 前回の出席会員数 | 12名 | 68.42% |
| | メイクアップ数 | 1名 | |
| | 修正出席会員数 | 13名 | |
| メイクアップ済み会員及びメイクアップ訪問先 | | | |
| 8/22 熊本西RC 上田 君 | | | |



ガバナーを皆でお出迎え

熊本第3グループガバナー補佐 大友 利行



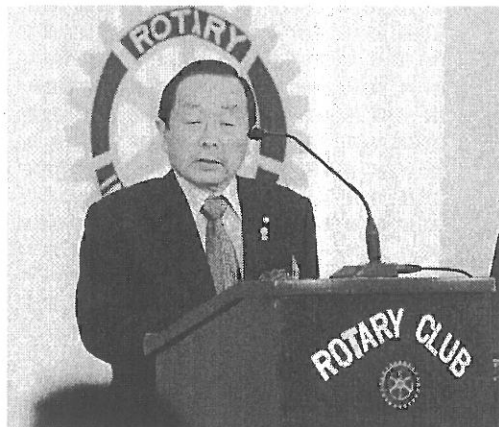
今日は、熊本第3グループの熊本東RC、熊本北RC、熊本東南RC、熊本グリーンRCの4クラブ合同の永田壮一ガバナー公式訪問です。
 今年度クラブ運営の基本を学ぶ伝統の行事であります。合同ガバナー公式訪問の前後にはガバナーと4クラブの会長、幹事との個別の会議もあり、日頃の問題や当面する課題をガバナーと直接話し合う重要なものであります。これらを通じて新たなロータリー精神が培われ、クラブが元気になり、楽しんで奉仕活動が出来ることをめざします。会員の皆様の御協力に感謝申し上げます。

＜熊本第3グループ4RC合同 永田壮一ガバナー公式訪問 スマイル報告＞
報告者 熊本グリーンRCスマイル担当 福島和見

全員スマイル 74,000円を公益財団法人 熊本県ロータリー奨学会へ寄付
＜目録贈呈＞熊本グリーンRC 河野景治 会長より
公益財団法人 熊本県ロータリー奨学会 小野友道 理事長へ



熊本県ロータリー奨学会へスマイル贈呈



熊本県ロータリー奨学会理事長
小野友道氏より謝辞

「入りて学び、出でて奉仕せよ」 Enter to Learn, Go forth to Serve

R1第2720 地区ガバナー 永田壮一



●ロータリーの歴史

1905年2月23日、シカゴ・ロータリークラブ 創立

1910年：ロータリーの綱領制定

1911年：全米ロータリークラブ 連合会(国際ロータリーの前身)
ホートランド 大会でアーサー・F・シェルトンの提唱による
職業奉仕のスローガン “He profits most who serves best.” が、
ロータリー大会宣言の結語に採択される。

1915年：全米ロータリークラブ 国際連合会サンフランシスコ第
6回年次大会にて「ロータリー 道德律」を採択。職業人として
の実践道德の指針とされた。標準定款・模範細則採用

1923年：セントルイス国際大会で「決議 23-34」を採択。

「綱領に基づ、く諸活動に関するロータリーの指針」として

“service, not self” と “He profits most who serves best.” が併記された。

1927年：ヘルク・オステント 大会で「四大奉仕」が組織化され、イギリスの強い要望により
職業奉仕は “Vocational Service” と命名されて四大奉仕の一つに組み込まれる。

1943年：「四つのテスト」 著作権が RI に譲渡され、RI に採択。

1989年：「ロータリアンの職業宣言」 “Service above self” を第一モットーに “He profits
most who serves best” を第二モットーとした。

2007年：標準ロータリークラブ 定款に「四大奉仕部門」が追加。DLP CLP の導入

ロータリーの基本的な理念は、1905年から1927年までにほぼ確立されました。しかし、順風満
帆ではなかったようです。

理論派と実践派に分かれた論争。→「決議23.34」

エドガー・アレン (Edgar Allen)

1918年オハイオ州エリリアンRC に入会。身体障害児救済のために全米身体障害児協会を設立。
積極的に社会奉仕活動を実践。こういった、行動実践派とロータリー理論派との間に軋轢が生じた。

理論派；ロータリアンの心に「奉仕の心を形成」することが、ロータリーの本旨。

実践派：「奉仕活動の実践」こそが、ロータリアンの使命。

(ロータリー崩壊の危機)

ホ.ール・ハリス 曰く

「すべての考慮を職業奉仕に集中しようとする思想は、理論的帰結において一つの事態を想定するものであった。実業道德の向上を唯一の目的とする世界的大同団結なるものは、単にそれ自体大きな価値を持つだけでなく、各国間の親善増進に寄与する価値は大きい。しかしロータリーは創立以来、その若干の目的の中に特にある優位を許与したことはかつてなかった。」

これらの、理論派 実践派 の軋轢を通して行われた1923年セントルイス大会で採択された「決議34号」が、あります。

一般に「決議23.34」として有名ですが、.....

ホ.ール・ハリスは後にこの決議に対し「あらゆる分裂の危険性を解消した。」と安堵していたようです。

それでは、決議23-34の内容は、どのようなものでしょうか？

「個々のクラブ.において事実上の完全な自治を認めるものでした。」

「他方において、一つの行動が、他の行動を無視すべきではないことを厳に戒告したものでした。」

新しい定款・細則を読み取る時に、国際ロータリアンの定款・細則に沿ったクラブ.運営をすれば、極めて自由なクラブ.としての活動が.保証されます。例会の回数、時間、奉仕活動など、2016年の規定審議会の決議事項からRI は大きな変化の道を歩み始めました。

1905.1927年：ロータリアンの黎明期

恐慌とアメリカの暗黒時代・市場経済至上主義、アメリカン・ドリーム

* 職業倫理の欠如→倫理概念の確率→友情と寛容→ロータリー

1928.1988年：ロータリアンの発展期

* 恐慌から第二次世界大戦→東西冷戦→世界経済バフ.ル→貧富の差

1987.2000年：ロータリアンの変化期

* 世界の変化：ハ.ルソンの壁崩壊 ソ連の民主化 世界経済の成熟化 新興国の台頭 経済の二極化多様化の時代への移行

2001年.現在：ロータリアンの革新期

* 国または地域の倫理観・地域紛争の遷延化・テロリズム・移民

* 職業倫理と人道的な倫理観・博愛主義と民族融和主義

『国際政情、経済情勢、新興国の発展 → 時代に合わせてロータリーも変化』

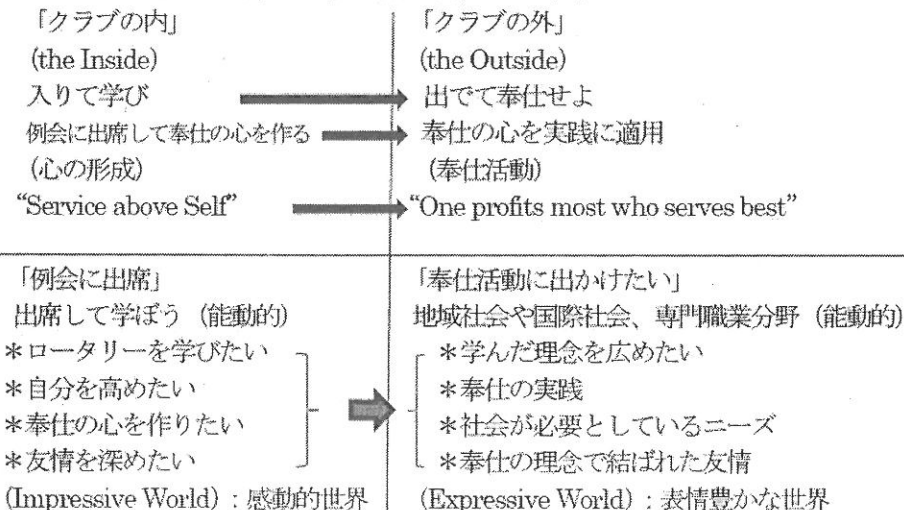
● 「入りて学び、出でて奉仕せよ」はいつから？

(Enter to Learn, Go forth to Serve)

* ケント.リック・ガーンジーRI 会長 (1947.1948) の標語
一昨年までは国際協議会 (サンディエゴ.) の入り口に掲載
ちなみに今は、WELCOME TO THE RIA です。



● 「入りて学び出でて奉仕せよ」の意味を探りましょう



●ロータリークラブ. の設立時の思想

前にも述べた「共通の仕事に協力せよ。・・・・」

*一業種一人の大前提 → Vocational Service へ

「彼らの間には宗教上 及び 政治上の議論は友好を妨害する恐れありとして、これを禁じていた。」

(P. ハリスの祖先はアイルランド・スコットランド. 人。また、第一次のロータリアンの多くが、コダヤ人であったため、キリスト教各宗が、存在。)

「よく「知り合う」ということが、大切な中間過程であり、それは、迷える人の心を治し、無益な猜疑を解消して概ね友愛にまで成熟する。」



ロータリーの目的：奉仕の機会として知り合いをひろめること。

ロータリアンは友愛と寛容の精神を持って友情を育む仲間 (Fellowship)

*友情を培い友愛の精神を鼓吹する → Club Service

『ロータリークラブ. に最初から存在した、職業奉仕とクラブ. 奉仕』

●RI 戦略計画の概要



RI戦略計画も2010年のRI理事会で決定されました。これは、国際ロータリーとロータリー財団が、ともに同じ方向を向いて行こうというRIの決意です。

「私たちは、他者に奉仕し、高潔性を推進し、事業と専門職務及び地域社会のリーダーの間の親睦を通じて世界理解、親善、平和を推進する。」

実践するための3つの「優先項目」

中核的価値観：ロータリアンが、ロータリーの中において、何を優先させ、どのような行動をとるのか、という指針。全てのロータリアンが、認識して実践しなければならないこと。

いこと。

「奉仕」「親睦」「多様性」「高潔性」「リーダーシップ」

●それでは、ロータリー黎明期における「ロータリーの理念」と現在の「ロータリーの理念」には変化か、あるのでしょうか？

*ロータリーの行動規範 (2014)

ロータリアンとして、私は以下のように行動する。

1. 個人として、また事業において、高潔さと高い倫理基準をもって行動 する。
2. 取引のすべてにおいて公正に努め、相手とその職業に対して尊重の 念をもって接する。
3. 自分の職業スキルを生かして、若い人びとを導き、特別なニーズを 抱える人びとを助け、地域社会や世界中の人びとの生活の質を高める。
4. ロータリーやほかのロータリアンの評判を落とすような言動は避ける。



*ロータリー道徳律 (1915年サンフランシスコ大会採択)

この道徳律は、人格の完成と自我保全の為の国家永続、という様なキ. リシヤ的道德観ではなく、ただ愛の精神より発するものである。即ちロータリアンはひたすら自我保全の権利を主張するものではなく、他人を滅ぼすよりは寧ろ他人に滅ぼされんことを選ぶのである。然るか、故にこの道徳律は愛の精神を基盤にして構築された。

〔道徳律の価値〕 この道徳律は、今の世にある保守派進歩派の論争、その何れにも与するものではない。保守か進歩か、ただ単にその様な論争をして何になろう。この道徳律が、求める所のものは一価値—それか、もたらす有用性ということなのだ。保守か進歩か、そんなことには関わりなく道徳律の有用ということか、これを起草した人々の意図なのである。この有用性によって道徳律は存立し、それある限りその存在意義は失われない。(別紙参照)

つまり、1915年と2015年ではその精神はほとんど変わっていない。

国際ロータリーの第一標語 (1911) SERVICE above SELF (超我の奉仕)

国際ロータリーの第二標語 (1911) One Profits Most Who Serves Best.

(最もよく奉仕する者、最も多く報いられる)

ロータリー財団の標語 (1917) Doing Good in the World (世界で良いことをしよう)

1905 年. 1927 年の理念に変化なし→ 奉仕の理念

*ロータリークラブ定款第5条「ロータリーの目的」

*ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として「奉仕の理念」を奨励し、これを育むことにあ
る。具体的には、次の事項を奨励することにある。

*第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること

*第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する
機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものとする

*第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業及び社会生活において、日々、奉仕の理念
を实践すること

*第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推
進すること

本クラブの目的は、「ロータリーの目的」の達成を目指し、五大奉仕部門に基づいて成果あふ
れる奉仕プロジェクトを実施し、会員増強を通じてロータリーの発展に寄与し、ロータリー財
団を支援し、クラブレベルを超えたリーダーを育成することである。(標準ロータリークラブ
定款第3条)

ロータリークラブの目的 (Purpose of a Rotary Club)

およそロータリー会員は、身分の高低と貧富の別なく、人種にかかわらず宗教家たるを問わず
政治家たるを論ぜず、寛大、忍耐、正義、親切、友誼、親愛をこのわれわれの知る最善の小世
界の住人に支給している人々に、好意を伝える使節として終始するものである。

ホ.ール・P・ハリヌ (1935年)

私か、ロータリークラブに入会した理由は、どうも二つあるらしい。

*自らの職業に対する倫理を構築するために勉強すること

*それを実践するために社会に貢献すること

この二つを達成するためには揺るぎない友情と親睦が、必要であるとロータリーの先達は言いた
いのではないか。

*入りて学び、出でて奉仕せよ



ご静聴ありがとうございました。



ソングリーダー 仙波会員



メイン席



グリーンRC集合写真